

ayame (4) - Makoto SUNAHARA



本書の一場または全部を無断で複写、複製することは、法律で認められた場合を除き、著作権の侵害となります。

©2003 Makoto SUNAHARA

No graphic of this book may be reproduced or varied, altered, modified, adapted, distributed, performed, displayed in any form, without permission in writing from the copyright owner.

a y a m e (4)

Makoto SUNAHARA





これまでのあらすじ

母親の病気を治すために、どんな病も治す方法が載っているという「アルモの外典」を探そうと家を飛び出した祥瑞。ふとしたことで知り合った片目の刀使いあやめ、外典の写本の後継者螢雲と旅を共にすることとなる。

外典の守護者である天雲と叢雲に行く先々で邪魔されながら、ついに最後の写本を読むことができた祥瑞であったが、そこに書かれていたのは病を治す方法ではなく、人を死ななくさせる方法であった。さらには、そのためにあやめの脳髄が必要だという。

落胆する祥瑞の前に、祥瑞の姉だという星影が現れる。かつてあやめと一緒に旅をし、やはり写本を探したという彼女はあやめを殺そうとする。混乱する祥瑞へさらに天雲が追い討ちをかける。天雲曰く「貴方は人間ではないのだ」と。

螢雲の力で辛うじて難を逃れた3人は全ての決着をつけるために祥瑞の父親、紫竜に会いに行く事にする。



禁断の知識を
求める愚か者め

何度も逃げ
られたけど
今回はそう
いかないよ



やあ
久しぶり

この家が
ばれるとは
思ってたな



あッ!



年貢の
納め時って
やっさ



あやめ 第四話











つまり
お母さんは
いないんだね



…はい



翠映^{いずみ}
祥ちゃんの
お母さんは
どこ？

詳しいことは
分かりません

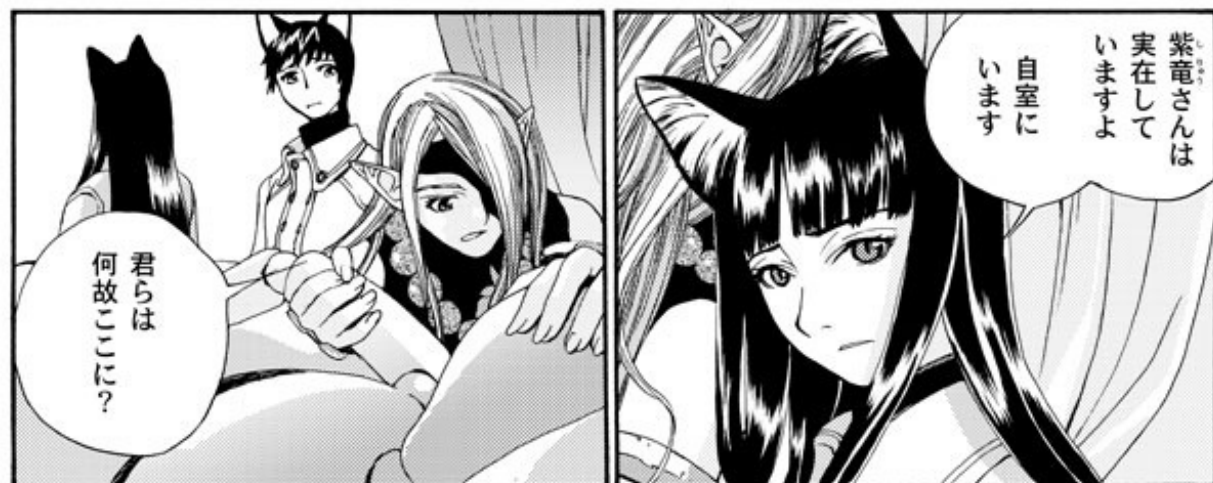
私も祥瑞^{さうぎ}さん同様
全て事実と思ひ込んで
いましたから



— 親父は？

親父はどこだ？

まさか親父も
幻だったとは
言わないよな!?



紫竜^{いそりゆう}さんは
実在して
いますよ
自室に
います

君らは
何故ここだ？



……私の信じてきたものが
全て造られた幻だったと
分かったときの衝撃は
忘れられません

仮初とはいえ
私の役目は
祥瑞さんをお守りする
ことでした

過去の記憶もなく
全てを失った私達に
せめてその役目を
果たさせて下さい



覚悟は
できた
親父の所へ
行こう！



あ……



ありがとう
翠映さん



今回は
こんな手で
きたのね

毎度毎度
よく考え
つくこと

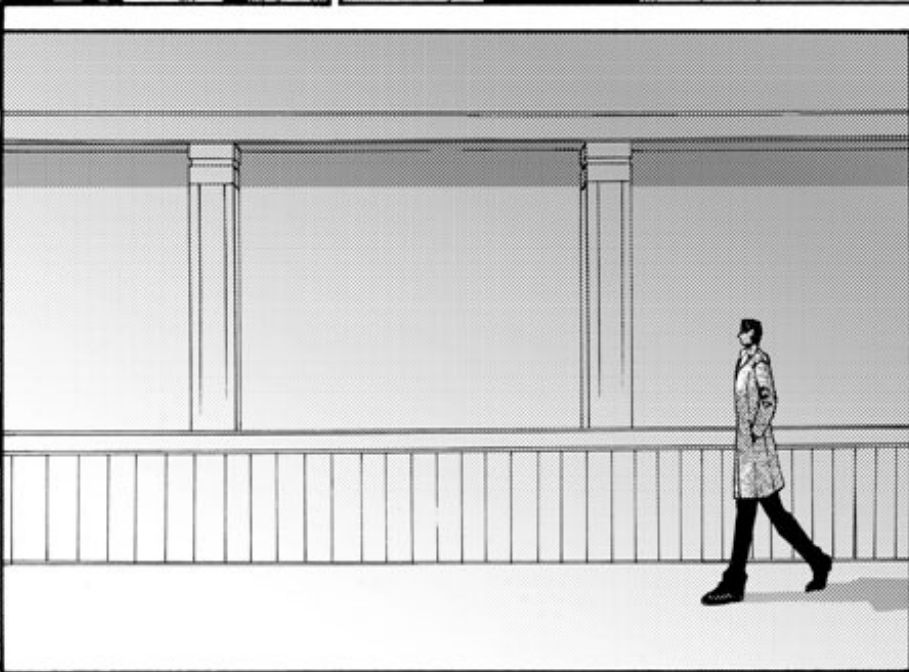
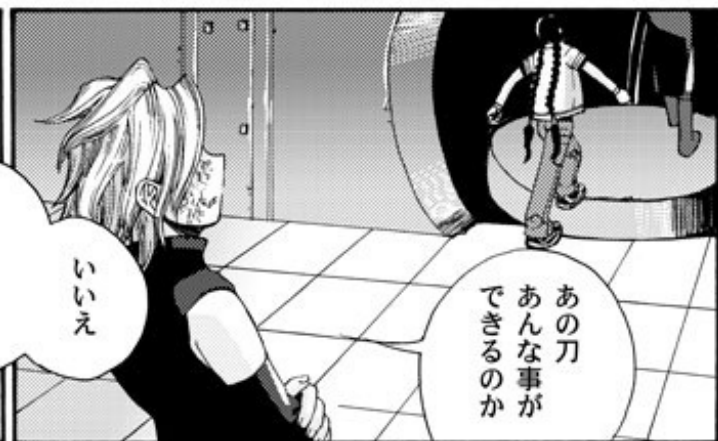
感心して
ないで
手伝えよ

焦らなくても
平気よ

あ
祥瑞達が
来る

もう？









言葉の通りだ
弟よ

私達はいいつのために
本と知識を探し
死んでいく

肉と薬劑から造られ
五十年の寿命の脆い
肉体を引きずり
全ての行動は自分の
意思と信じて疑わず
どんな困難も
厭わない





……娘達？
じゃあ私は？

気に入るな
たまには息子が
欲しくなった
だけだ



ただ 女ばかり
造ってきたから
そのせいかな



女の格好を好む
息子になったの
には我ながら
笑ったよ



姉妹の無念を
思い知るがいい！



今までに何人の姉妹を
造り壊してきたのか
知らないが
私はお前を許さない



お前は
どうなんだい？

私が
憎いかい？

き…

きまつてるだろ！



身体能力と自立心に
長けた娘を造るもの
ではないね
まいったな



だよなあ
祥瑞



これで私の
復讐は完了し



外典の知識の
悪用を防ぐという
彼らとの
約束も果たした



あとは

あとは
あやめ!

この前は彼らの
命令で足止めに
徹していたが

今日こそ
貴方を殺し
私を完成
させる!



はあ やっと
終わったか

これで
眠れるよ





祥瑞さん
だめだよ！

離してよ
蛭ちゃん！

こいつらは君の
ご両親の仇でも
あるんだぞ！



痛いなあ

眠りたいのなら
私が眠らせて
やろうか！



私は仇を
討ちたいとは
思っていないせん

彼らを殺しても
両親は戻って
こないのですから

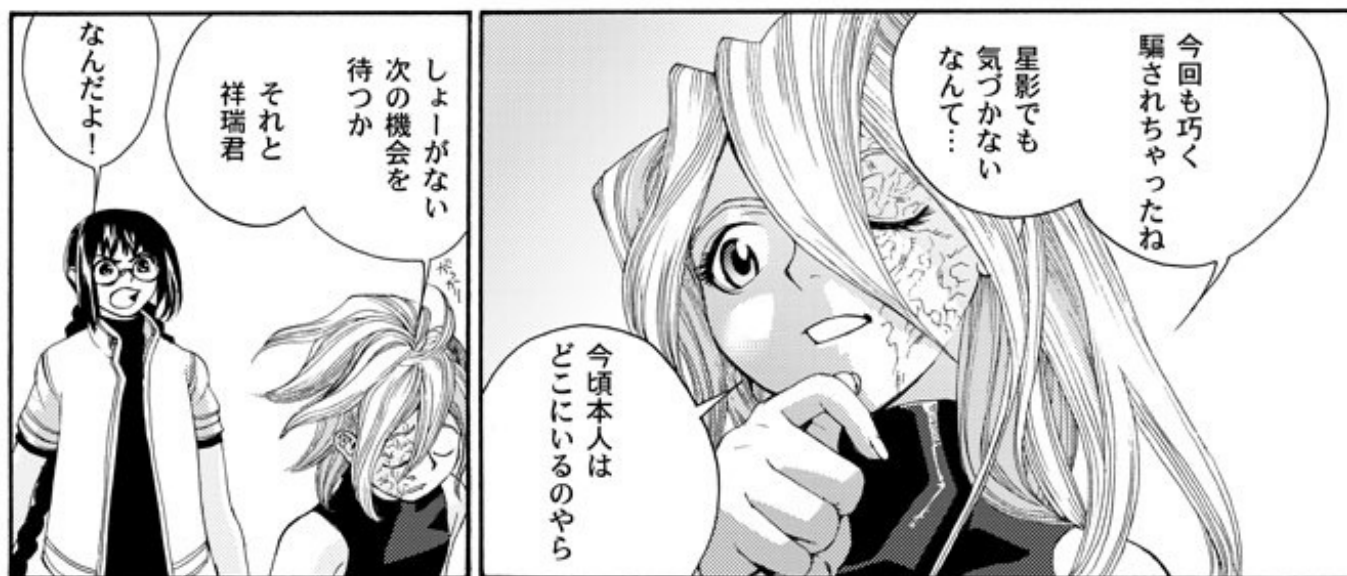
何より祥瑞さんが
誰かを殺すなんて
嫌です！



叢雲

これ
本人じゃない

何!?





ねえ

その完全ってのに
なってるのどうするの？

父の求めた知識を
私を得る！

そして自由になる
んだ！
誰にも飼われていない
私の人生がやっと
始まるんだ！！

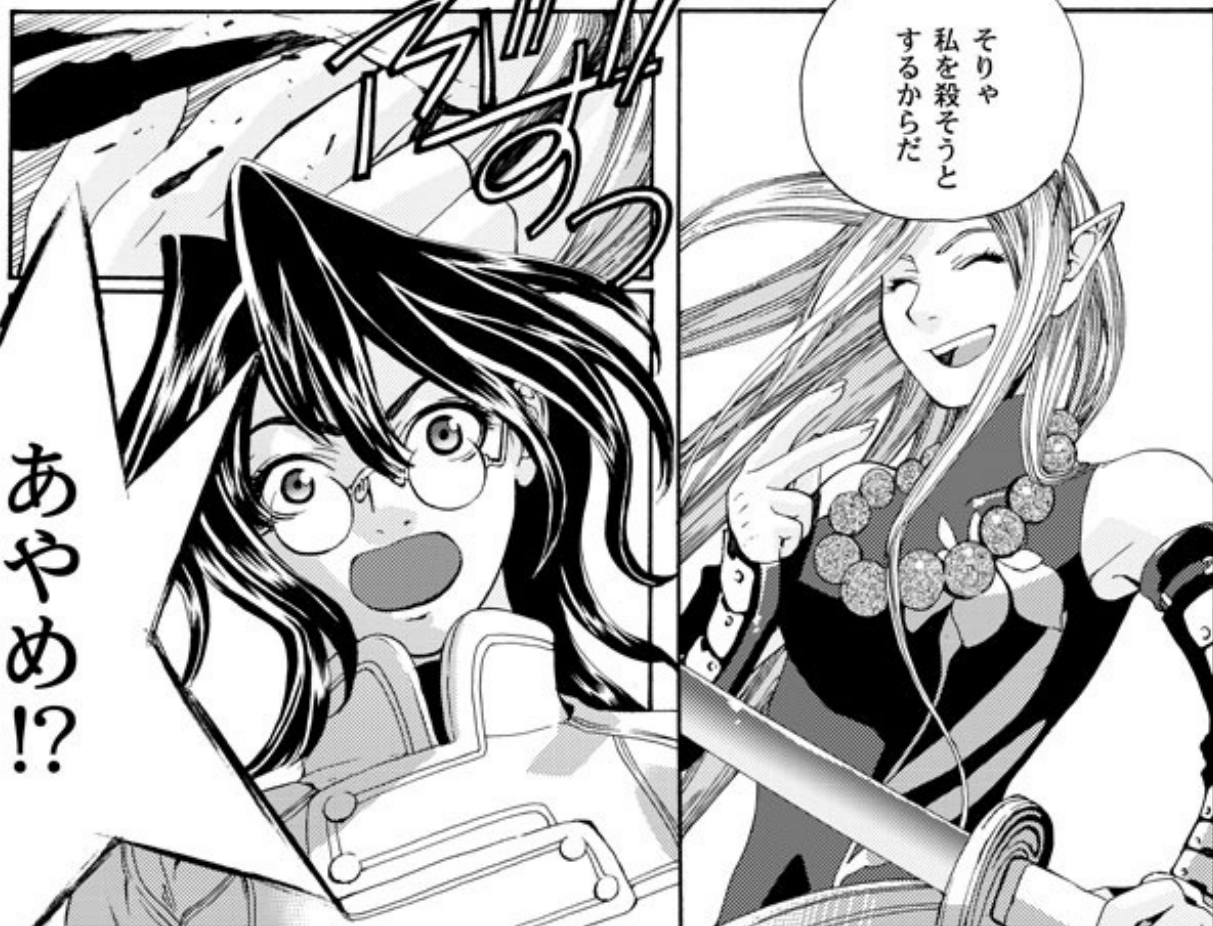


なるほど

一緒に旅したの
楽しかったね

命を
助けられた
こともあつ
たっけ

なんだよ
この前は
私を殺そうと
したくせに
いきなりさ



そりゃ
私を殺そうと
するからだ

あやめ!?



脳をやるわけには
いかんから
これで勘弁してよ
目でも結構
効くんだろ？

あげる



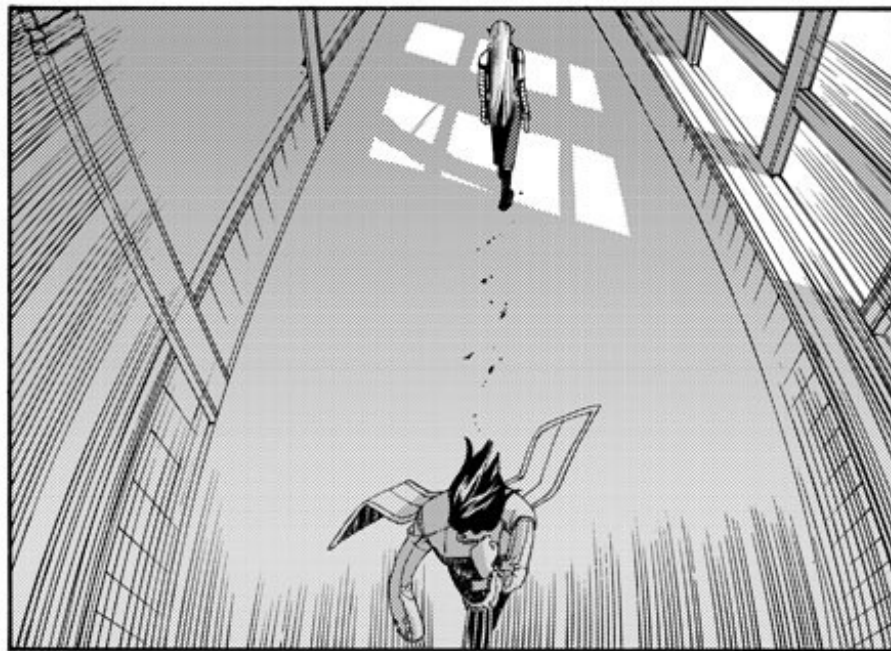
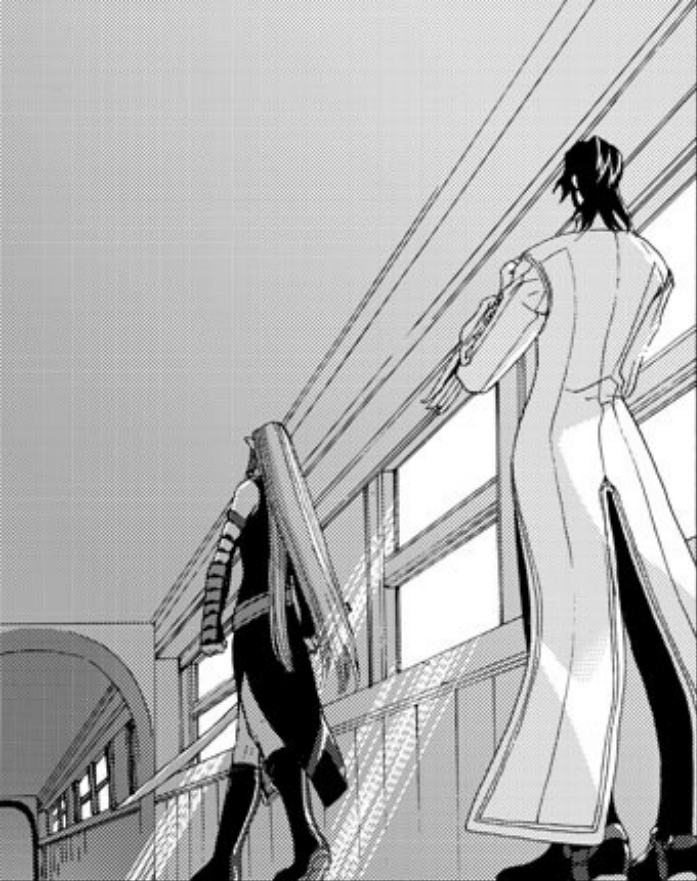
何を…!?



私は天外孤独の身で
なにかからも自由だけど
うもそれが
過ぎるんだよね

少し御裾分け
したら
丁度よくなるかも
しれないなーと
思ってたさ







正体というか…

僕らと同じ
製法のもの
なんだ

気分としては
腹違いの兄妹
みたいかなあ



もちろん彼女の
父親だよ

彼 一人娘を
亡くしててね

よっぽど
悲しかったんだね
禁じられている写本を
開いて人間を
造ったんだ



それで蛍ちゃん
殺さなかったの？

—でも誰が
造ったんだよ？



普通に
子供作れば
いいのに—

馬鹿だな
色々あるんだよ

君だって
実子じゃ
ないだろ



馬鹿で悪かったな
じゃあ彼女の
二重人格は
何なんだ？

彼女の本質は
「あっちの方」
なんだけど

普段の彼女は
後天的に出来上がった
「娘である蛍雲」
としてのものさ

多分そのうち
混ぜたって一つに
なるんだろうな

今は幼い蛍雲を
守るときにしか
現れないし問題
ないと思うよ

わ…

私はそちらへ
行っても
何もできませんよ



— そうだね
多分 ずっと



特に
することも
ないよ

悪い奴が
現れたら
やっつける
それ以外の時は
好きに過ごせば
いい

そんなことが
ずっと
続くのか？



私だったら
そんなの
御免蒙るなあ

あやめ!?



あー
これは
星影に
あげた

そんな！
死んじやう
よ!!

目どうしたの!?
やられたの？

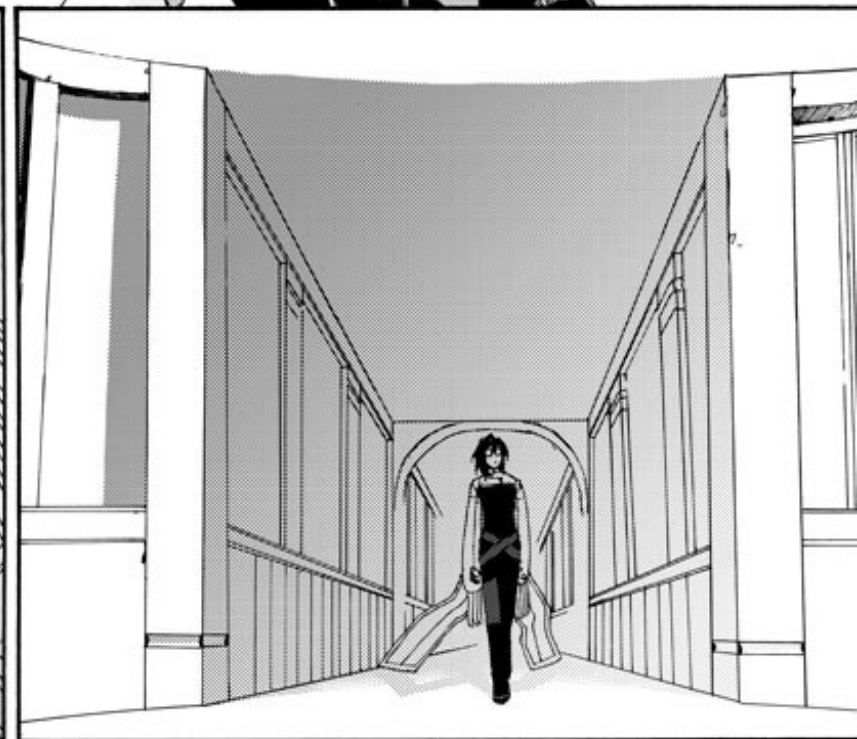


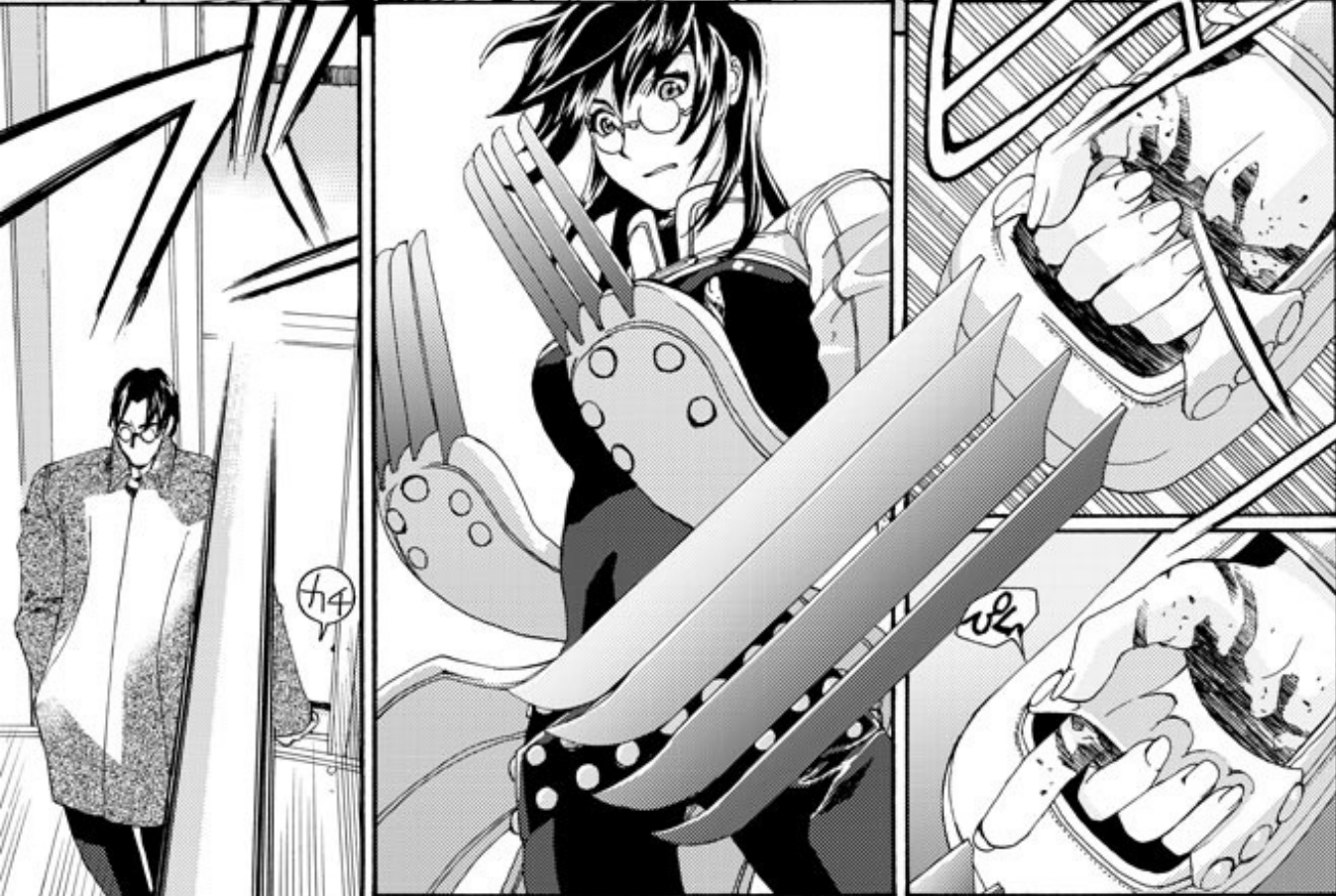
前は
死ななかったから
大丈夫だよ

で なんか
面白い話を
してたけど？

なんなら
君も来る？

遠慮しとく
君達のやり方は
嫌いなんだ







殺したい人間の前に
隙を見せちゃいかん

何を迷ったか
しらんが



!?



星影が
やられた!



二人は
どこだ!?

一番の北西の
廊下にいるわ

でもどうするつもり?
貴方が彼を殺す?

うるさい!



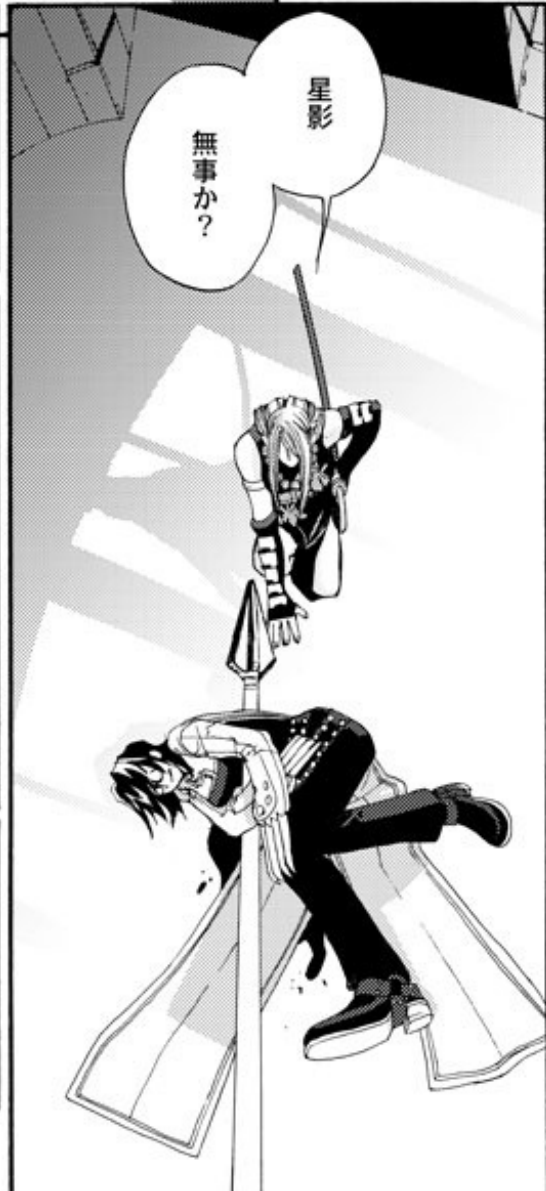
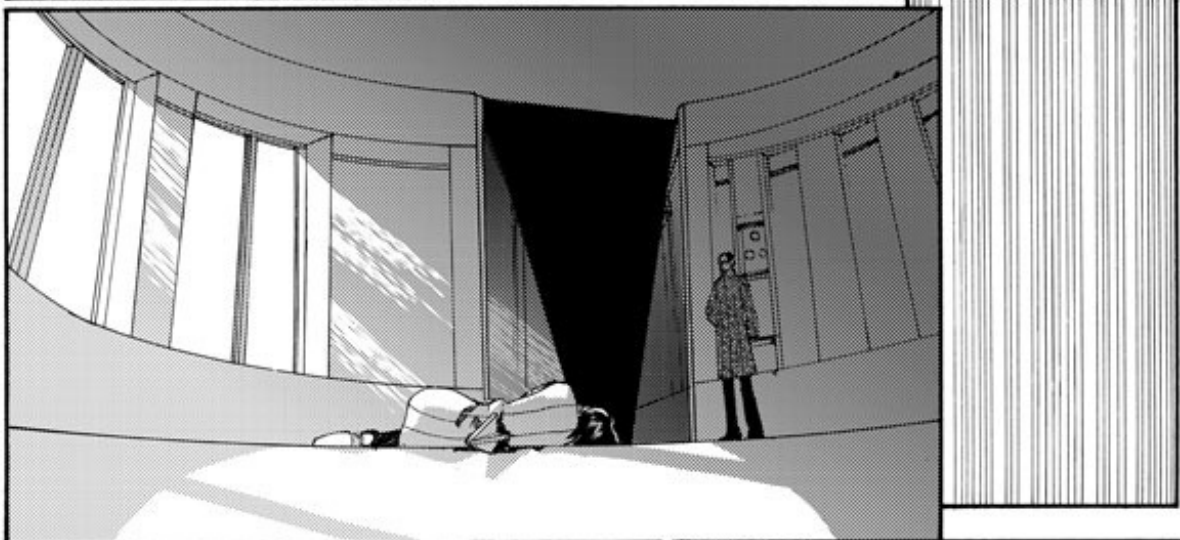
嘘だろ
誰にだ!?

運よく本物の
紫竜に出会ったのに
どうして襲わな
かったのかしら
無抵抗でやられる
なんて:

!



あやめさん?





知ってる



その刀……
どこで
手に入れた？

貰い物だけど
なにか？



結構な刀身だが
抑制が憑いているぞ



!?

……待て
あやめ

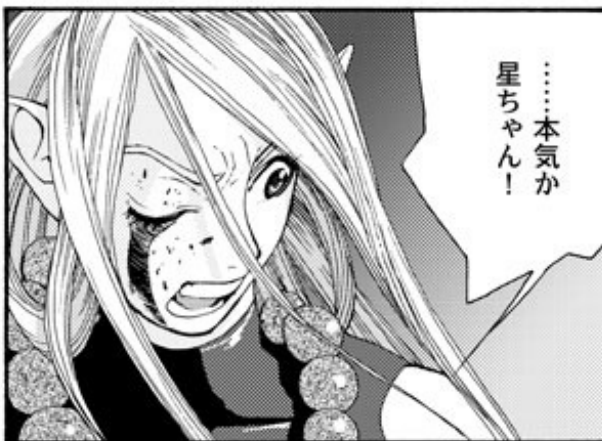
それは
私のだ

わんわん



……
あれを殺さないとい
けないんだ

わんわん



……本気か
星ちゃん！



何言ってんだ
ここから出て
行くんだよ！

そして全部
忘れちゃえ！



星ちゃん！！



…再生でき
ないや
くそ親父め

あやめ…
なんて
顔してるんだ

死ぬのは二度目さ
少しは
慣れてるだろ？



—弟を

せめて
祥瑞は……

しゃべるな
星ちゃん！



星ちゃん
しっかりしろ！



想定していたより
脆かったな
やはり未完成
だからか…









あやめ…



だねえ



なんだ
はなから
あやめに
やってもらえば
よかった



おー
きれいきれい



星影を
生き返させる
ことはもう
無理なのか？

そうか
じゃあ



…ど
どうした
あやめ？



なあ？

間違いないと
思うよ

あの紫電は
本物か!?



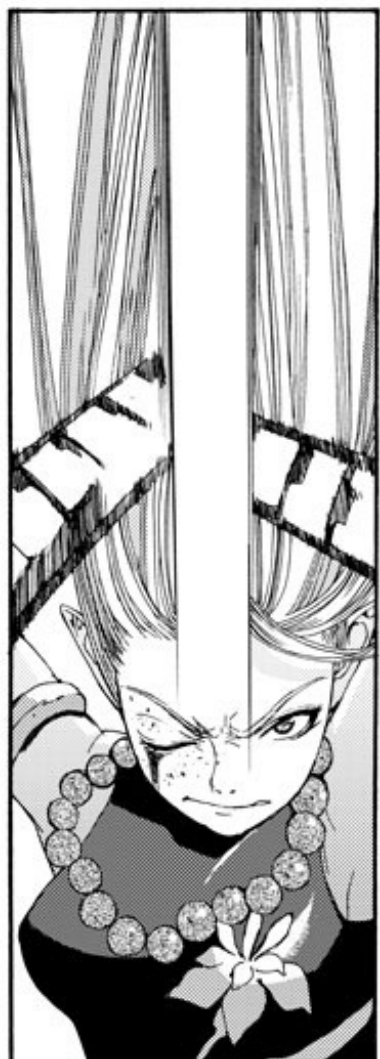
…あれは
無理だな

やったのは紫竜か？
見事だよ
何を使ったのか
わからないけど
内臓が滅茶苦茶だ



そうか

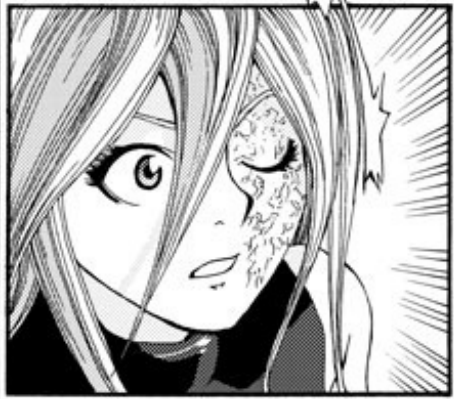
なんなんだよ！



その刀じゃ
私達を斬れ

無駄よ
あやめさん

いっ





!?



……彼女の殺気で
虫が怯んでる

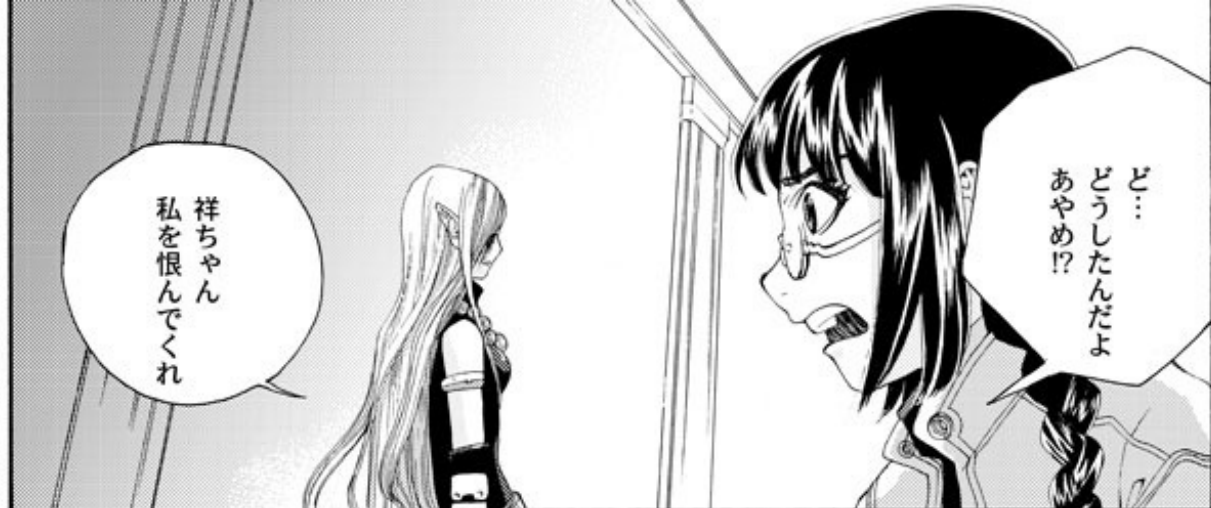


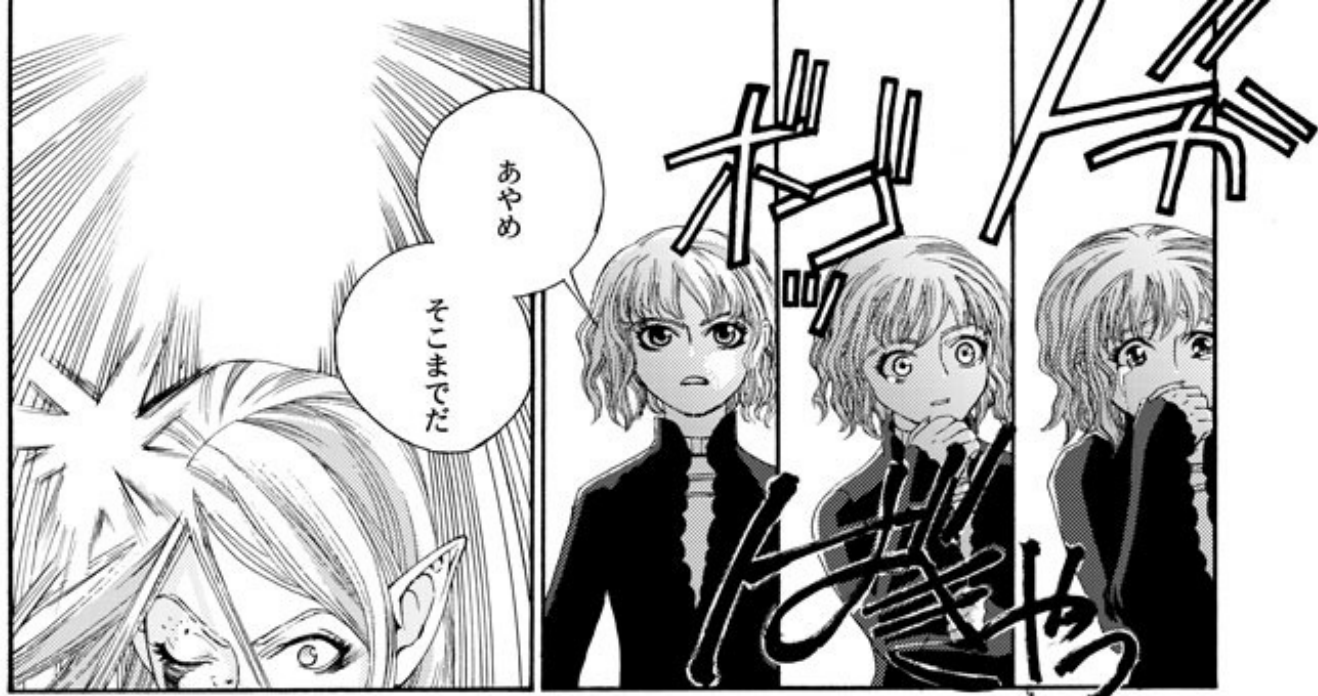
どうして？
どうして
僕らを斬れる!?

君らも
消える



もうこんなことは
やめよう
写本なんて全部
燃やしてしまえ









あのさ
私は…

あやめを
恨むなんて
できないよ!

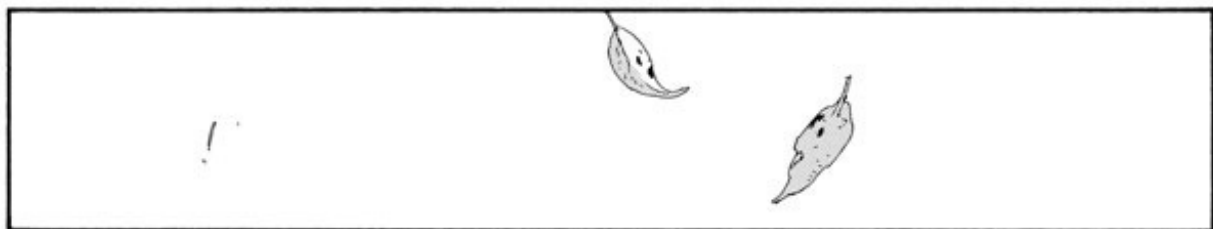
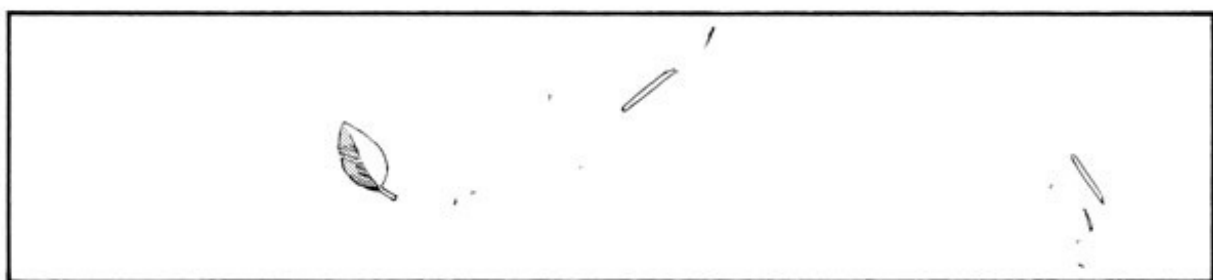


また…



また会おう！
あやめ!!







祥瑞さ——ん!



螢ちゃん
大きくなった
ねえ

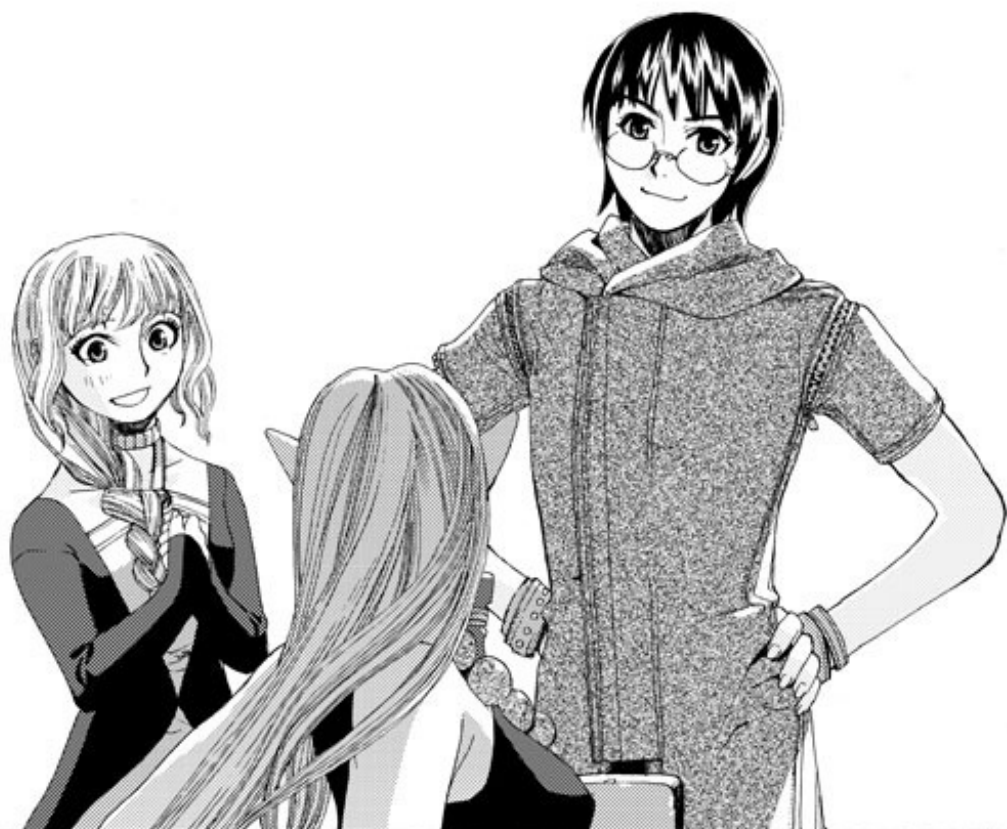
今は図書館の
お手伝いして
るんだって?

学校もあるし
大変だね

いいえ
そんなこと
ありません

毎日
楽しいですよ





あはははは
びっくりした？

あやめさん
お久しぶり
ですー！



私ね古本屋
はじめたんだよ

親父が残してた
お金がちよっと
あったから
それ元手に

んでね
買い付けに行きたい
ところあるんだけど
遠いし物騒でさあ
護衛してよ

あやめの居場所探すの
大変だったんだよ
探偵雇ったりしてさー

ずーっと
会いたかった
んだから！



ここにくる途中で
蛍ちゃんに挨拶
行ったんだ

そしたら彼女も
あやめに会いた
いってうから
一緒に来ちゃった

ちょ…

ちょっと待て—！

ね—

一気に

喋るなあああ！



元気そうで
よかった



祥ちゃんと
蛍ちゃん
こそ



もう3年
経つんだね
うまく言えない
けど…

あやめには
感謝してるんだよ
だからもう
私達の前から
消えないで



親の仇に
感謝とは
なんとも…

古本屋は
ほっといて
いいのか？

翠映と燎火が
留守番してるから
ぜーんぜん平気



よしわかった
依頼の詳しい
内容を聞こうか

旅の経費は全部
そっち持ちだから
覚悟しとけ！

20031212 MakotoSUNAHARA



まあまあ

まずは
ここの飲み代
奢るよ
乾杯しよう

あーこら
蛭ちゃん
酒飲んじゃ
だめだ！

えー
これくらい
平気ですよ

未成年
だろ！

あやめ 完

あ と が き

こんにちは。砂原真琴です。あやめ最終語をお届けします。

考えてみれば2年かかってるんだなあ、と。早かったというか、長かったというか。今度長い話をやるときは描き溜めて分厚い本にしたいですね。あやめの番外編で雲裳天雲の片目が潰れてしまったお話とか。本編中にアルモ本人が出てこなかったのも、そいつを出したいというのがあったりもします。

今回本気でやばかったです。何がって、原稿が。新月さんがいなかったら完璧に落ちてました。感謝することしきりでございます。それと、アイス持って遊びに来たところを無理矢理手伝わせてしまった犬マソさん、すみませんでした。ありがとうございました。

4巻までお付き合い下さった皆様、有難うございます。そして宜しければ、蒸りずにこれからもお付き合い下さいませ。

砂原真琴 拝

あやめ 第4話

2003年 12月 30日 第1刷発行

著 者 砂原真琴

(C)Makoto SUNAHARA 2003

発行所 砂原堂hybrid

発行者 新月直久 / 砂原真琴

Printed in Japan

印刷所

落丁・乱丁本が万一ございましたら、発行者宛にお送り下さい。送料当サークル負担でお取り替え致します。
本書の一部または全部を無断で複写、複製することは、法律で認められた場合を除き、著作権の侵害となります。



* S - h y b r i d *



0 231230 004760

電子書籍 (Puboo) 版 あとがき / Information

このたびは、砂原堂 hybrid「あやめ」をご覧下さいましてありがとうございました。この作品は、2002～2003年の2年間をかけて同人作品として執筆されたものです。当時とても頑張って描かれたものですが、今となっては絵もさることながら、お話が非常に拙いものなので、皆様に楽しんで頂けるレベルに達しているかどうか判りません。もし少しでも楽しんで頂けましたら幸いです。

この作品の後、2004年から「水守」という長いシリーズの漫画を描き始めました。2004年に1作目「雨妙間月夜水鏡」、2005年に2作目「mera di nebbia」を同人誌として発表しています。現在3作目（完結編）を執筆中ですが、250ページ近い大作となってしまう、完成は2011年の冬ごろになる予定です。

また、2004年以降に読み切りとして執筆した同人誌作品および商業誌掲載作品を、昨年（2010年）、「ミルヴェーデン領厄災記」「北緯44度の案内人」という2冊の総集編同人誌にまとめて発表いたしました。

もしこれらの同人誌に興味がありましたら、砂原堂 hybrid のサイトを通じて通信販売でお求め頂けるようになっていきますので、ぜひよろしくお願いします。

さらにさらに、2/22発売の「コミックハイ！」3月号に、読み切り作品を掲載させて頂けることになりました。目下の最新作ですので、ご覧になって頂けましたら幸いです。

最後に、作品が多くの皆様の目に触れる機会を与えて下さいました paperboy&co. 様と、貴重なお時間を下さいました皆様に感謝致します。よろしければ、ご意見ご感想等を頂けましたら幸いです。

砂原堂 hybrid WWW : <http://www.sunahara-do.com/>

砂原真琴 : info@sunahara-do.com